



2019-2020 国際ロータリーのテーマ
ロータリーは世界をつなぐ
 Rotary Connects The World

2019-2020 RI会長
 マーク・ダニエル・マローニー
 <アラバマ州(米国)>



第1515 職場訪問例会 令和元年11月12日(火)

職場訪問【(株)仙醸様】

唐澤千明会長挨拶

今日は職場訪問先として仙醸さんが受けて頂きありがとうございます。伊那には4つの酒蔵があり、その一つのお店として多くの顧客をお持ちになっていることと思います。

伊那市においては、数年前から宴会等での乾杯に地酒を使っています。過去においてはビールでしたが、日本酒を飲む人が減少してきたことや地元産業の活性化に貢献しようとはじめました。

「地酒で乾杯」は伊那商工会議所でも推進しています。また、地酒で乾杯しようとして条例化した都市もあります。

水とお米に麴を入れての日本酒の製造過程を見学して頂き、時間、温度、酵状況によりおいしい日本酒ができるものと思います。適量の飲酒なら健康や肌にも良いと聞いておりますので引き続き宴会では日本酒を飲みたいとおもいます。

これを機会に、会員の少しでも多くの方が日本酒を飲んで頂ければ幸いです。

仙醸さんが今後益々発展することを祈念申し上げ挨拶とします。

今日はよろしくお願ひします。



■ 点 鐘 12:30

■ ソング 真実を求めて 市川満貞ソングリーダー

■ 会長談話 唐澤千明会長



午前中は仙醸さんでの職場訪問お疲れ様でした。伊那市内4つの日本酒酒蔵の一つで、歴史もあり広く飲まれていることも感じられました。

日本酒は全国各地で製造されており、現在は全国に1,500以上の酒蔵があるといわれ、その種類を正確に分類するとなると膨大な数になります。

日本酒の基本的な分類として6種類あり、純米系では純米大吟醸（精米歩合50%以下）、純米吟醸酒（精米歩合60%以下）、純米酒（規定なし）の3種類、本醸造系では大吟醸酒（精米歩合50%以下）、吟醸酒（精米歩合60%以下）、本醸造酒（精米歩合70%以下）の3種類です。

純米系すなわち純米酒というものは、この「純米」と名前が付く日本酒で、どれも醸造用アルコールが含まれていません。純米酒は水と米だけで造られた日本酒のことを指しており、それ以外のものも含まれている場合は純米酒と呼びません。

一方、本醸造系の「純米」と付かない商品には「醸造用アルコール」が含まれています。醸造用アルコールとは、食用のエタノールのことで、これを使うことで、日本酒の品質を保ったり、より香りを引き立たせたり、まろやかな味わいに仕上げています。

また吟醸と大吟醸の違いですが、米というのは芯の部分に近づいていくほど「でんぶん」が強くなってきます。そのため日本酒を造るときには表面の部分を取り除いて芯の部分のみを使うようにしています。通常は3割ぐらいしか削らないですが、4割削ったものは吟醸であり、半分以上削ったものは大吟醸と呼ばれています。基本的には米を削れば削るほど米の感じが薄まり、本来の味を損なうようなものもなく、すっきりした舌触りになるといいます。

日本酒のおすすめ銘柄ランキング（SAKIDORI発表）では1位が山口県の「獺祭大吟醸50」、2位は新潟県の「久保田純米大吟醸萬寿」、3位は新潟県の「八海山純米吟醸雪室貯蔵三年」となっています。ランキングの発表は対象者や企画によっても色々ですが、長野県では上位に上田市の信州亀齢（しんしゅうきれい）や長野市の川中島幻舞（かわなかじまげんぶ）がランキングされていました。

伊那市に係る宴会・祝賀会では地酒で乾杯をしています。ある都市では日本酒で乾杯することを条例化しているところもあります。いずれも、地元のお酒を飲むことにより活性化を生んでいるものと思います。

■ ニコニコボックス

- ◆唐澤千明 職場訪問お疲れ様でした。飲む酒は仙醸にしようかと思いました。
- ◆市川修次 仙醸さんへの職場訪問ご苦労様でした。

■ 幹事報告 市川修次幹事 幹事報告は別紙をご覧ください。

■ 委員会報告

・11月7日（木）米山奨学生・金根さんの中野RC訪問の報告 鈴木一比古カウンセラー



米山奨学生の金根君の卓話で中野RCに行ってきました。

SAAの司会で、ソングリーダー無しでCDにて国歌・ロータリーソングを歌いました。誕生日祝いが1名、CDでハッピーバースディを全員で歌いました。

岡澤会長の挨拶の後、金根君の卓話です。自身の生まれ故郷の話を中心に、信州大学での研究と勉強の話、故郷の料理・気候・地理的な話等、とても良くまとめられていました。

・11月10日（日）RLIパート3の報告 井上修会員（市川修次幹事代読）



RLIロータリーリーダーシップ研究会 パート3に出席させて頂きました。朝9時から午後5時までみっちり6時限の研修会です。パート1が個人の資質を上げる、パート2がクラブの充実を謀る、パート3はロータリーの革新を目指すというカリキュラムでした。今回が最終の研修会ですが、ロータリーの細部に至る説明お聞きして見聞が広がり、且つ新しく知己も得て知り合いも多くなりました。この貴重な経験を与えて頂いたクラブに感謝し、少しでも恩返し出来るよう努めて参ります。

・12月17日（火）年末家族会の案内 宮澤豊和親睦活動・友好委員長



今年度の年末家族会は12月17日（火）午後6時より開催します。子供さんにはプレゼントもありますのでご家族皆様でのご参加をお待ちしております。

・2020年2月9日（日）～12日（水）ベトナム研修視察の案内 宮澤豊和親睦活動・友好委員長

別紙の通り「ニユンさんの故郷を訪ね、ベトナムの現状を知る研修視察」を計画致しました。ご興味のある方は是非ご参加をお願い致します。

・財団室ニュース11月号の内容紹介 中川博夫ロータリー財団委員長



P1「ロータリーボイス」に、寄付をお願いすることの難しさを実感しています・・・とあります。財団・米山両委員会とも皆様に寄付をお願いするのは心苦しいのですが、伊那中央RCの伝統を守るためにも、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

P2「お知らせ・ロータリー東日本震災復興基金」、P4「災害支援・ロータリー災害補助金・グローバル補助金」をお読みください。災害支援及び復興のために、ロータリーの補助金を活用できると書いてあります。今回の台風19号被害は、長野県だけではなく広範囲にわたっており、寒さに向かっていく時期なので、この制度を活用できないものでしょうか？

■ 出席報告 会員数48名 出席免除会員5名 長欠会員2名 本日出席者24名 事前メイク6名
出席率73.17% 前回出席率 修正なし

■ 理事会報告 市川修次幹事



1. 年末家族会の招待者について
2. I.M.決算報告について
3. 2020-2021年度地区委員会委員の推薦について
4. 事務所パソコンについて
5. 11月の行事予定とメイクアップ扱いについて
6. その他

■ 点 鐘 13:30

次回例会

11月19日（火） 点鐘 12:30 場所 海老屋料理店
・クラブフォーラム「米山記念奨学委員会」